

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

「将来トレンド」と「地区特性」から描く2050年の姿



2050年に目指す方向

ESGに取り組む企業やワーカーを呼び込み、ひととの交流や自己実現できる快適で豊かなまち

ターゲットプレイヤー



パフォーマンス・活動

- 屋内・屋外問わず、あらゆる場所で、自由に、快適にはたらく
- 交流や界限性のある空間で新たなビジネスを創出
- ワーカーをターゲットにした多種多様な飲食・ショップが出店

2050年に目指す方向

多様性に富み、誰もが住みたいカーボンニュートラルなまち

ターゲットプレイヤー



パフォーマンス・活動

- アクティブで魅力あふれる暮らしを实践し、人を惹きつける
- 個性派ショップの出店など、チャレンジでまちを磨き続ける
- スキマ時間をシェアしながら、誰もが元気にカッコよくはたらく

2050年に目指す方向

先端技術による未来空間で、新たな感動体験ができるまち

ターゲットプレイヤー



パフォーマンス・活動

- 「先端技術×観光」が生み出す新たな感動体験
- 未来を切り開く新規ビジネスの創造にチャレンジ
- 最先端トレンドをキャッチし、次世代スタイルを実践

4. 地区の「将来の姿」を描く

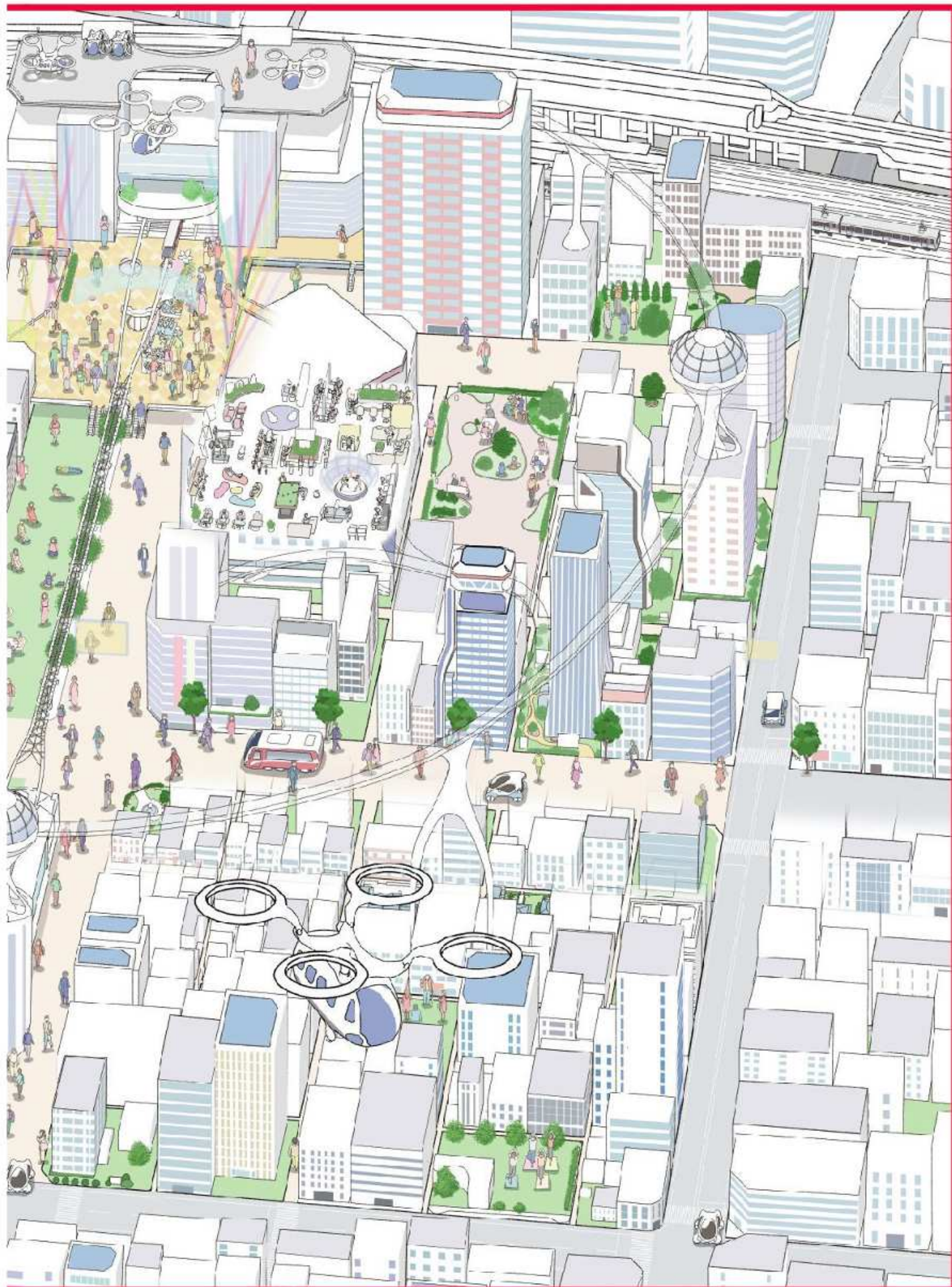
STEP.3

2050年 まちのビジョン

交流を生み、創造性を高める

まちごとワークプレイス





4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

01. オフィスでも、アウトドアでも、 好きな場所、好きな時間に快適に働ける環境



▲公園等を活用したフーケーション



▲公共空間における通信環境等の向上(道路・公園・広場等)



▲ビジネスパーソンの憩い空間



▲多様な働き方が可能なスペース(シェアオフィス・コワーキングスペース・スマートビル等)



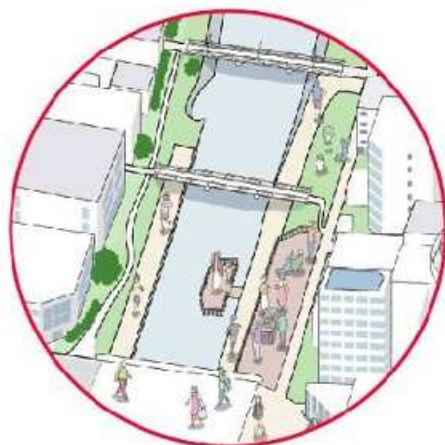
02. くつろげる、リフレッシュできる、リセットできる、 自分の時間を過ごせる場



▲ 水を感じられる・水辺に座ってくつろげる河川空間



▲ 芸術・文化に気軽に触れ合う仕掛け



▲ 広場のガーデンカフェ・バー



▲ まちに開放されたオープンカフェ・バー

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

03. 車優先からヒト優先の道路空間へ



Before

After



▲ 道路空間の再編(フルモール)

▲ 自家用車等の通行規制(進入制限・ハンプの設置等)



▲ ループバス・デマンド型バスなど回遊性を高めるMaaSの展開



▲ 道路空間の再編(トランジットモール)

04. ウォーカブルな、 歩いて楽しいストリート



▲ 路地裏空間の界隈性



▲ 低未利用民有地を公共空間として活用



▲ オープンな 沿道店舗を含む街路空間再編



▲ 水辺空間を飲食・休憩スペースに



▲ 通りと一体になった憩いの空間創出

4. 地区の「将来の姿」を描く STEP.3

2050年 まちづくりの方針

05. 稼げる、表現できる、交流できるステージ、 賑わいと出会いの場



▲▶ 自己表現の場



▲▶ 民間が賑がする公共空間



▲ 多種多様な活動を支える汎長性ある広場

06. シンボリックな空間



▲ 駅周辺の景観形成



▲ 駅前のシンボルストリート



▲▶ 路地裏のフォトジェニックストリート